

# 平成29年(2017年)3月期 第1四半期 決算発表

2016年7月27日

 日立建機株式会社

- ・売上収益は、前年に対し、アジア・北米などの減少と為替影響により対前年9%の減収
- ・調整後営業利益は、間接費低減はあるが為替影響等により利益減となり対前年55%の減益

(単位:億円)

	16年度 1Q	15年度 1Q	対前年同期 増減率	
売上収益	1,613	1,774	△9%	
調整後営業利益 *1	24	55	△55%	
営業利益	37	49	△26%	
税引前四半期利益	15	49	△70%	
親会社株主に帰属する 四半期利益	△16	28	—	
EBIT *2	17	57	△70%	
為替	アメリカドル	108.1	121.4	△13.2
	ユーロ	122.0	134.2	△12.1
	中国元	16.5	19.6	△3.0

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

\*2 [EBIT]は、税引前四半期利益から、受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標です。(EBIT=Earnings before interests and taxes)

- ・前年に対して、インド・オセアニア・欧州を除く全地域で減収
- ・特に北米は対前年△61億円(22%減)、アジアは対前年△58億円(31%減)の大幅減収

(単位: 億円)

	16年度1Q		15年度1Q		対前年同期	
	(構成比)		(構成比)		金額	増減率
日本	422	(26%)	437	(25%)	△ 14	△ 3%
アジア	130	(8%)	187	(11%)	△ 58	△ 31%
インド	96	(6%)	92	(5%)	4	4%
オセアニア	205	(13%)	193	(11%)	11	6%
欧州	239	(15%)	222	(13%)	17	7%
北米	215	(13%)	276	(16%)	△ 61	△ 22%
中南米	8	(0%)	17	(1%)	△ 10	△ 56%
ロシアCIS	39	(2%)	40	(2%)	△ 0	△ 1%
中近東	68	(4%)	69	(4%)	△ 2	△ 2%
アフリカ	69	(4%)	92	(5%)	△ 23	△ 25%
中国	123	(8%)	148	(8%)	△ 25	△ 17%
合計	1,613		1,774		△ 161	△ 9%

海外売上収益比率

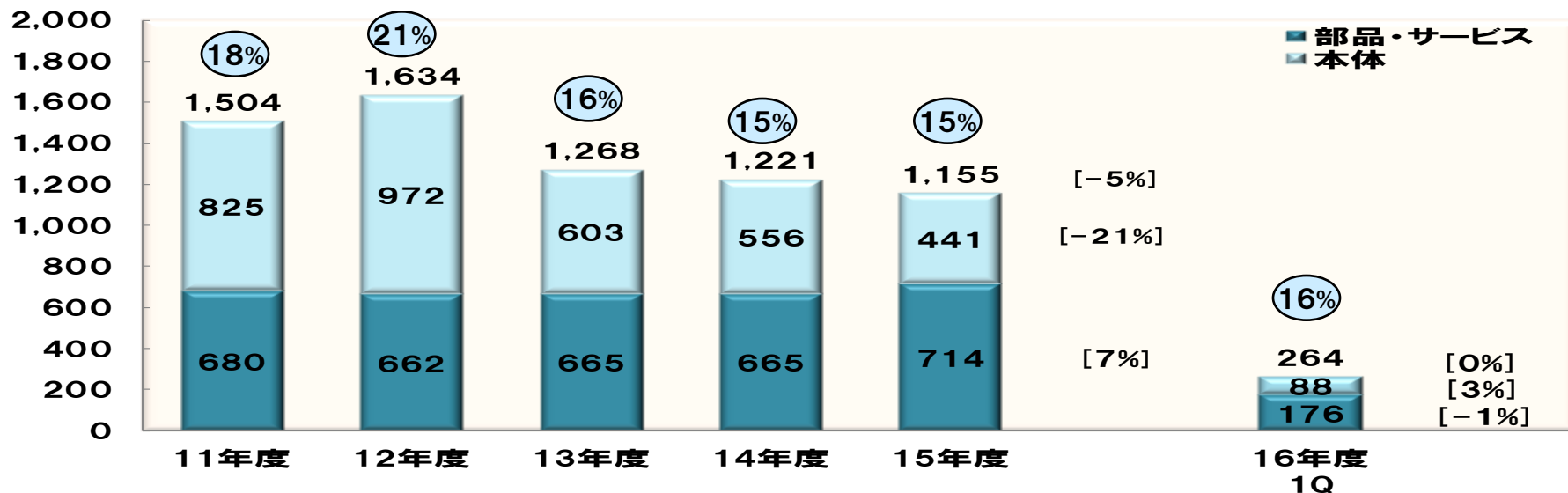
74%

75%

## マイニング

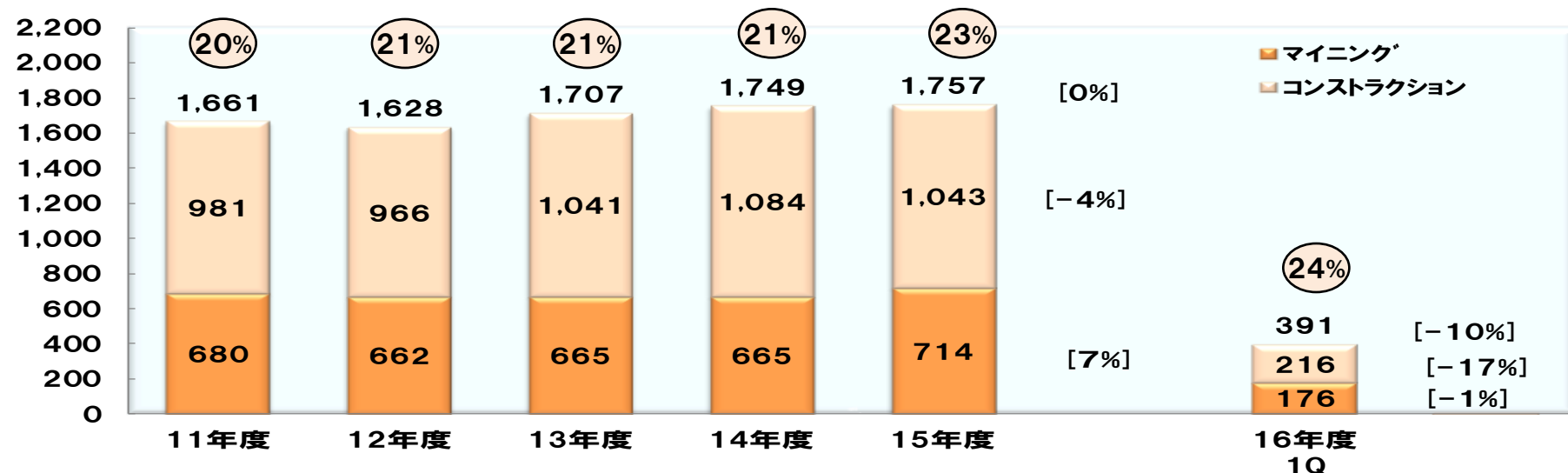
(単位:億円)

(注) % は全社売上収益に占める比率  
[%] は対前年同期 伸び率

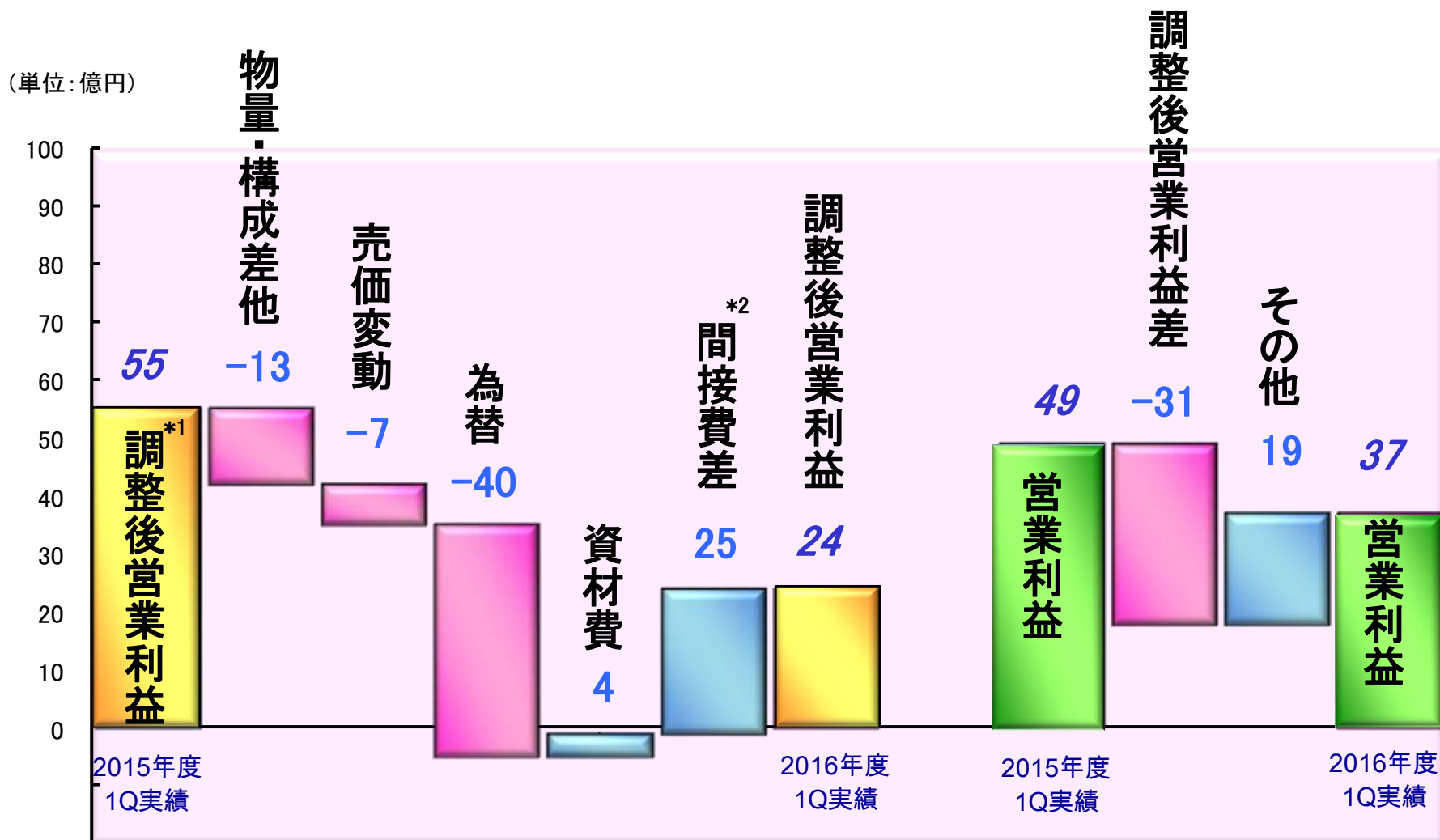


(単位:億円)

## 部品・サービス



・調整後営業利益は、間接費や資材費改善はあるも、為替影響大きく30億円の減益



\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

\*2 間接費: KCM子会社化による増 -15億

- ・調整後営業利益は、対前年△30億円の24億円
- ・営業利益は、対前年△13億円の37億円
- ・親会社帰属四半期利益は、営業利益減少に加え、金融費用増等もあり対前年△44億円の△16億円

(単位:億円)

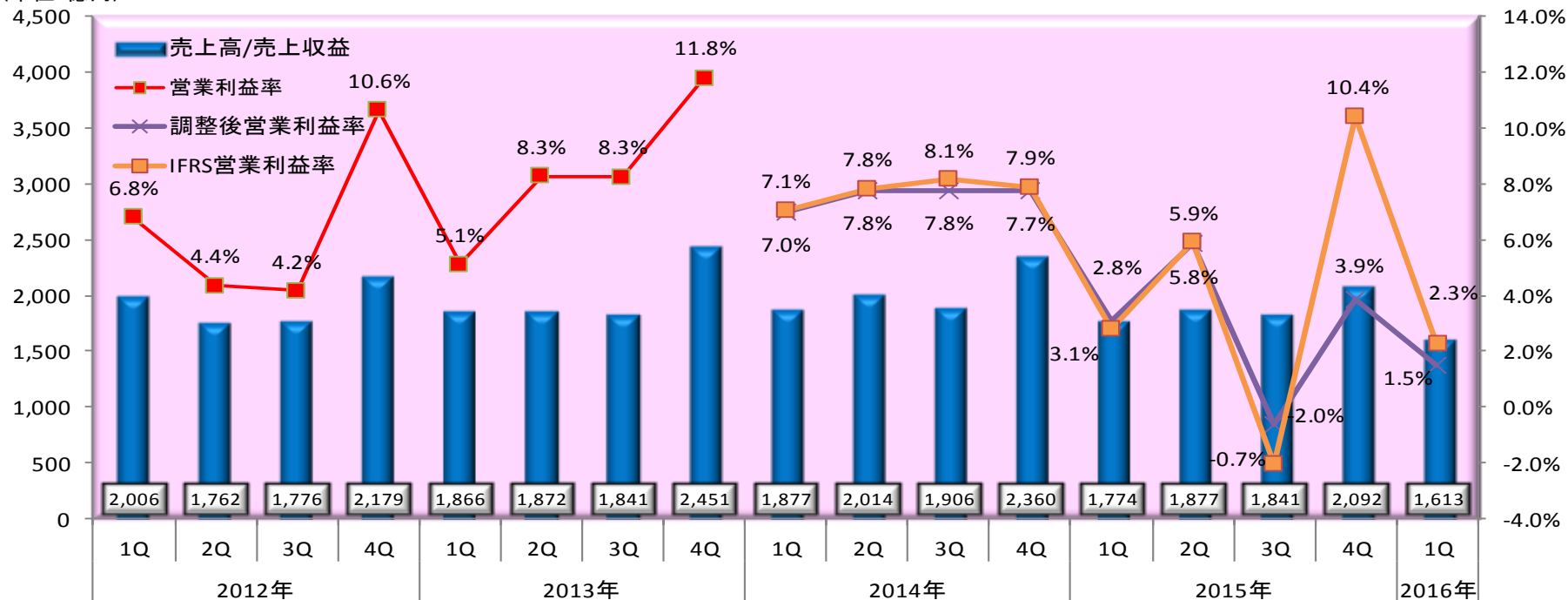
	16年度 1Q		15年度 1Q		対前年同期比	
					金額	増減率
売上収益		1,613		1,774	△161	△9%
売上原価	(77.1%)	1,243	(75.0%)	1,330	△87	△7%
販売費・管理費	(21.4%)	345	(21.9%)	388	△43	△11%
調整後営業利益 *1	(1.5%)	24	(3.1%)	55	△30	△55%
その他の収益及び費用		12		△5	18	-
営業利益	(2.3%)	37	(2.8%)	49	△13	△26%
金融収益及び費用		△22		△4	△18	452%
持分法投資損益		0		4	△4	△93%
税引前四半期利益	(0.9%)	15	(2.8%)	49	△35	△70%
法人所得税費用		25		17	8	49%
四半期利益	(△0.6%)	△10	(1.8%)	33	△43	-
親会社株主に帰属する 四半期利益	(△1.0%)	△16	(1.6%)	28	△44	-
四半期包括利益合計額		△282		81	△363	-

\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

(単位:億円)

	2012年				2013年				2014年				2015年				2016年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高/売上収益	2,006	1,762	1,776	2,179	1,866	1,872	1,841	2,451	1,877	2,014	1,906	2,360	1,774	1,877	1,841	2,092	1,613
営業利益	136	77	74	232	96	155	152	289	116	138	132	158					
調整後営業利益									131	157	148	183	55	110	-12	81	24
IFRS営業利益									132	158	155	186	49	111	-38	218	37

(単位:億円)



四半期別 為替レート	2012年				2013年				2014年				2015年				2016年
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
US\$	80.2	78.6	81.2	92.4	98.8	99.0	100.5	102.8	102.2	103.9	114.5	119.1	121.4	122.2	121.5	115.5	108.1
€	102.9	98.4	105.3	122.0	129.0	131.1	136.7	140.8	140.1	137.8	143.1	134.2	134.2	136.0	133.0	127.2	122.0
RMB	12.7	12.4	13.0	14.9	16.1	16.2	16.5	16.9	16.4	16.9	16.8	19.1	19.6	19.3	18.9	17.6	16.5

- ・総資産は在外営業活動体の換算差額の影響により、対前年度末比578億円の減少
- ・正味運転資金の手持日数は、対前年比20日の短縮

(単位: 億円)

	(A) 16年1Q	(B) 15年度末	(C) 15年1Q	(A)-(B) 増減
現金及び現金同等物	789	791	654	△2
営業債権	1,444	1,829	1,940	△386
棚卸資産	2,413	2,486	3,173	△73
流動資産合計	5,083	5,492	6,303	△409
非流動資産合計	3,604	3,774	4,119	△170
資産の部合計	8,688	9,266	10,422	△578

非流動を含めた営業債権	1,665	2,061	2,219	△395
-------------	-------	-------	-------	------

棚卸資産 内訳

本体	640	622	1,008	18
部品	878	960	1,124	△83
その他	896	903	1,042	△8
棚卸資産計	2,413	2,486	3,173	△73

手持日数(分母は売上収益)

(単位: 日)

営業債権(非流動含む)	82	99	101	△17
棚卸資産	119	120	144	△1
営業債務	55	54	56	1
正味運転資金	143	163	186	△20

	(D) 16年1Q	(E) 15年度末	(F) 15年1Q	(D)-(E) 増減
営業債務及びその他債務合計	1,917	2,059	2,132	△142
社債及び借入金	2,063	2,179	2,801	△116
負債の部合計	4,438	4,698	5,437	△260
(親会社株主持分比率)	(42.7%)	(42.7%)	(41.4%)	(△0.1%)
資本の部合計	4,250	4,568	4,985	△318
負債・資本の部合計	8,688	9,266	10,422	△578

(有利子負債比率)	(23.7%)	(23.5%)	(26.9%)	(0.2%)
有利子負債計	2,063	2,179	2,801	△116
現金及び現金同等物	789	791	654	△2
(ネット有利子負債比率)	(14.7%)	(15.0%)	(20.6%)	(△0.3%)
ネット有利子負債	1,274	1,388	2,147	△114

ネットD/Eレシオ	0.34	0.35	0.50	△0.01
-----------	------	------	------	-------



- ・営業CFは、当四半期利益の大幅減もあり、対前年比91億円減少した208億円
- ・FCFは、対前年比198億円減少した163億円

(単位:億円)

	16年度 1Q	15年度 1Q	対前年同期 増減額
四半期利益	△ 10	33	△ 43
減価償却費	76 87	122 89	△ 45 △ 2
売掛金及び受取手形の増減	242	450	△ 208
棚卸資産の増減	279 △ 76	303 3	△ 23 △ 79
買掛金及び支払手形の増減	114	△ 151	264
その他	△ 148	△ 125	△ 22
営業活動に関するキャッシュ・フロー	208	299	△ 91
営業キャッシュ・フローマージン率	12.9%	16.9%	△4.0%
投資活動に関するキャッシュ・フロー	△ 46	62	△ 107
フリー・キャッシュ・フロー	163	361	△ 198
財務活動に関するキャッシュ・フロー	△ 103	△ 229	126

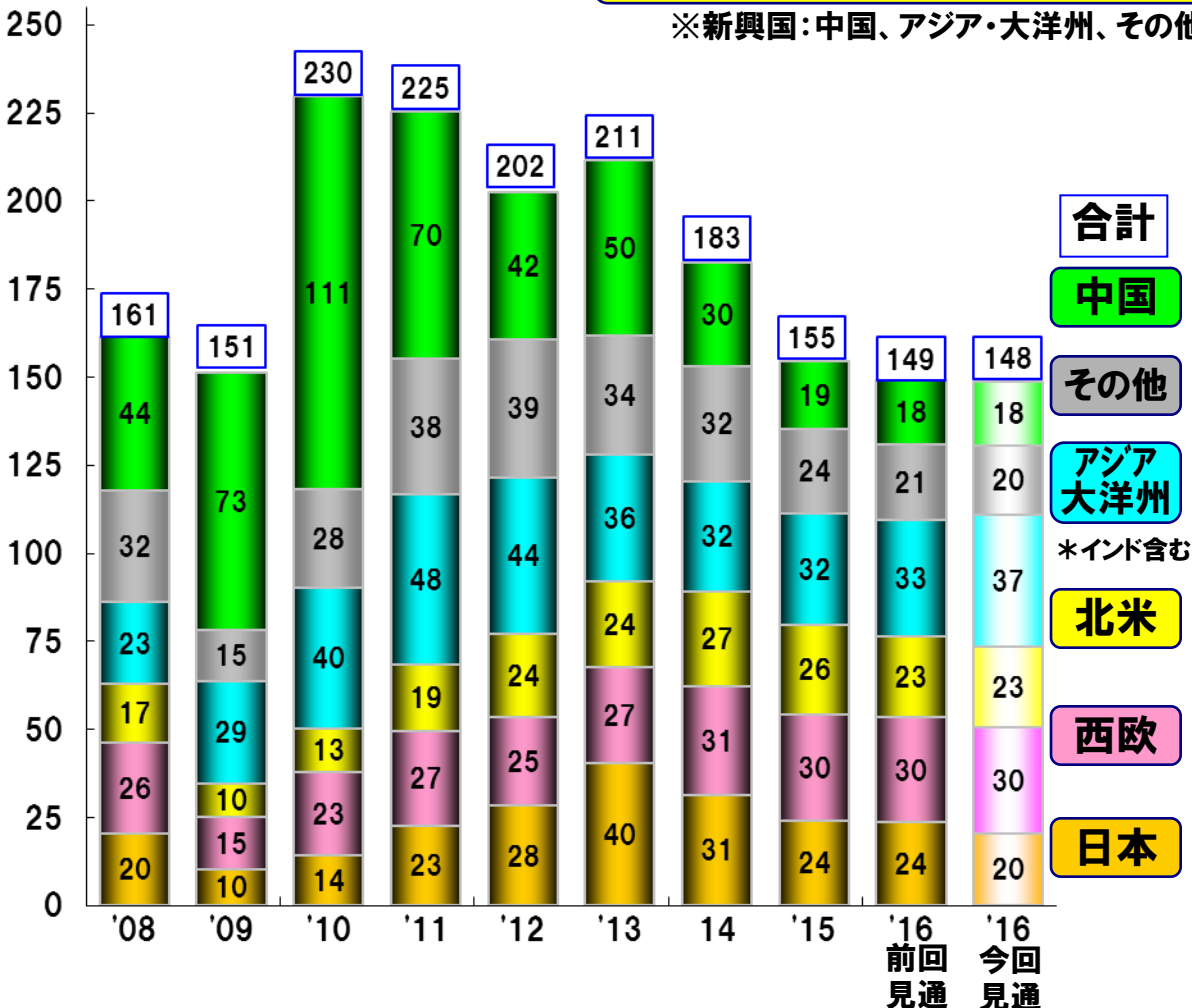
・2016年度油圧ショベル世界需要は、インドの大幅増加あるも、日本・中東・中南米の減少を見込み、対前年度比△5%の148千台と予想

\*当社推定 \*中国国産メーカー含まず

(千台)(複写・転用は御遠慮下さい)

**16年新興国比率:50%(対前年+2%)**

※新興国:中国、アジア・大洋州、その他



**地域別需要対前年増減**

	'15	'16前回	'16今回
<b>合計</b>	-16%	-4%	-5%
<b>中国</b>	-36%	-6%	-6%
ロシア・CIS	-44%	-8%	-8%
東欧	-31%	1%	-2%
アフリカ	-3%	-15%	-24%
中東	-38%	-8%	-20%
中南米	-25%	-13%	-17%
その他	+28%	+17%	+50%
インド	-38%	-10%	-10%
インドネシア	+0%	-1%	-1%
他	0%	+3%	+16%
アジア・大洋州	-4%	-12%	-12%
北米	-3%	0%	0%
西欧	-23%	0%	-17%
日本			

- ・16年度は円高による為替影響により、売上収益は15年度比8%の減収
- ・調整後営業利益は、為替影響による減益あるも構造改革効果等により対15年度比 20%増の増益を見込む

(単位: 億円)

	16年度 予想	15年度 実績	対前年同期比	
			金額	増減率
売上収益	(7,200) 7,000	7,583	△ 583	△ 8%
調整後営業利益	(360) 280	234	46	20%
営業利益	(300) 220	341	△ 121	△ 35%
税引前当期利益	(230) 150	245	△ 95	△ 39%
親会社株主に帰属する 当期利益	(80) 50	88	△ 38	△ 43%
EBIT	(262) 170	269	△ 99	
為替	アメリカドル	(110.0) 101.9	120.1	△ 18.2
	ユーロ	(120.0) 112.7	132.4	△ 19.7
	中国元	( 17.0) 15.3	18.6	△ 3.3
1株当たり配当金	(未定) 未定	40円	-	

注. ( )内は16年4月対外時

16年度 2Q以降為替レート (前回)		
(円/アメリカドル)	100.0	110.0
(円/ユーロ)	110.0	120.0
(円/中国元)	15.0	17.0

・対前年度で、インドは需要増で増収を見込むが、その他の地域は、需要低迷と為替影響により、減収を見込む

(単位: 億円)

	16年度 予想 (構成比)	15年度 実績 (構成比)	対前年	
			金額	増減率
日本	2,198 (31%)	2,328 (31%)	△ 130	△ 6%
アジア	572 (8%)	669 (9%)	△ 98	△ 15%
インド	578 (8%)	404 (5%)	173	43%
オセアニア	832 (12%)	935 (12%)	△ 103	△ 11%
欧州	811 (12%)	890 (12%)	△ 79	△ 9%
北米	822 (12%)	930 (12%)	△ 108	△ 12%
中南米	42 (1%)	67 (1%)	△ 25	△ 37%
ロシアCIS	143 (2%)	169 (2%)	△ 26	△ 15%
中近東	244 (3%)	282 (4%)	△ 39	△ 14%
アフリカ	304 (4%)	370 (5%)	△ 67	△ 18%
中国	455 (7%)	538 (7%)	△ 83	△ 15%
合計	7,000	7,583	△ 583	△ 8%

海外売上収益比率

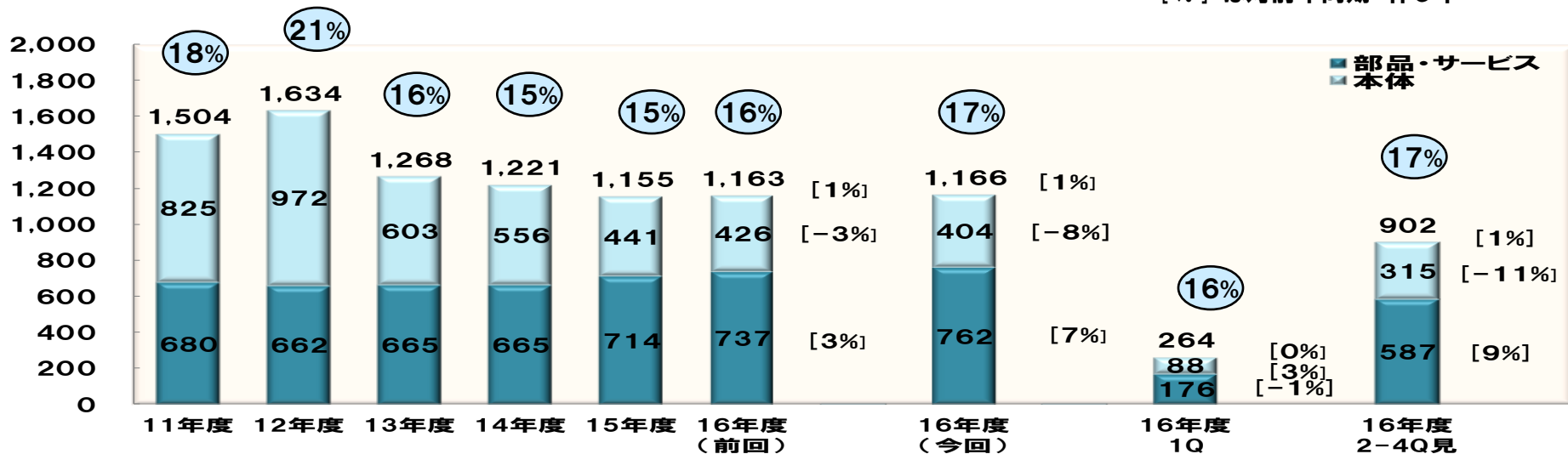
69%

69%

## マイニング

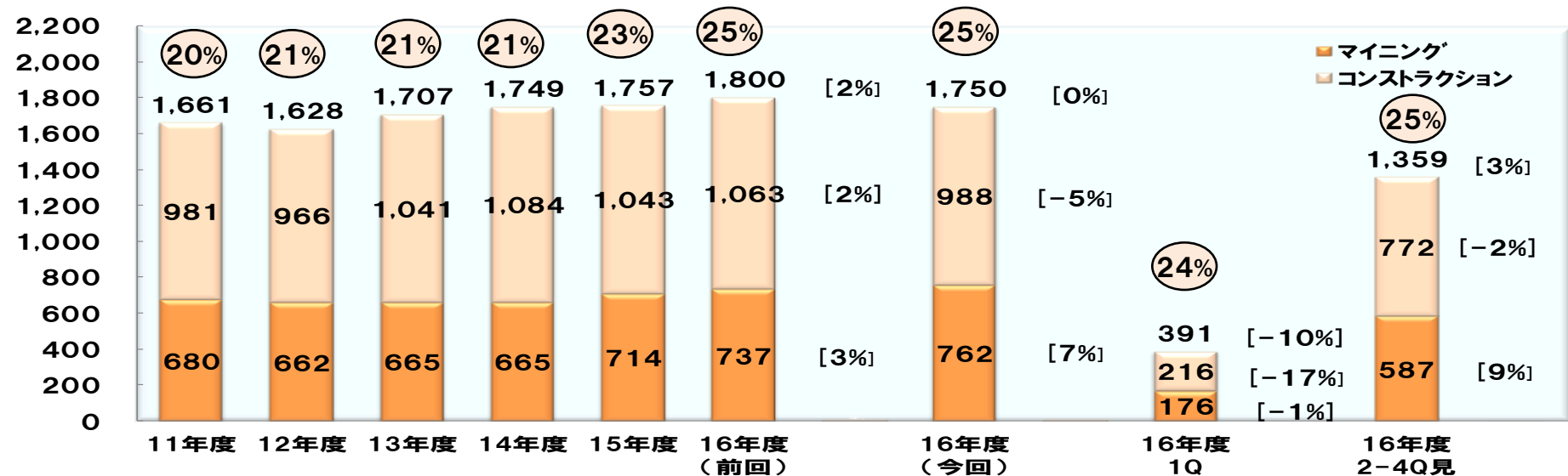
(単位:億円)

(注) (％) は全社売上収益に占める比率  
[％] は対前年同期 伸び率



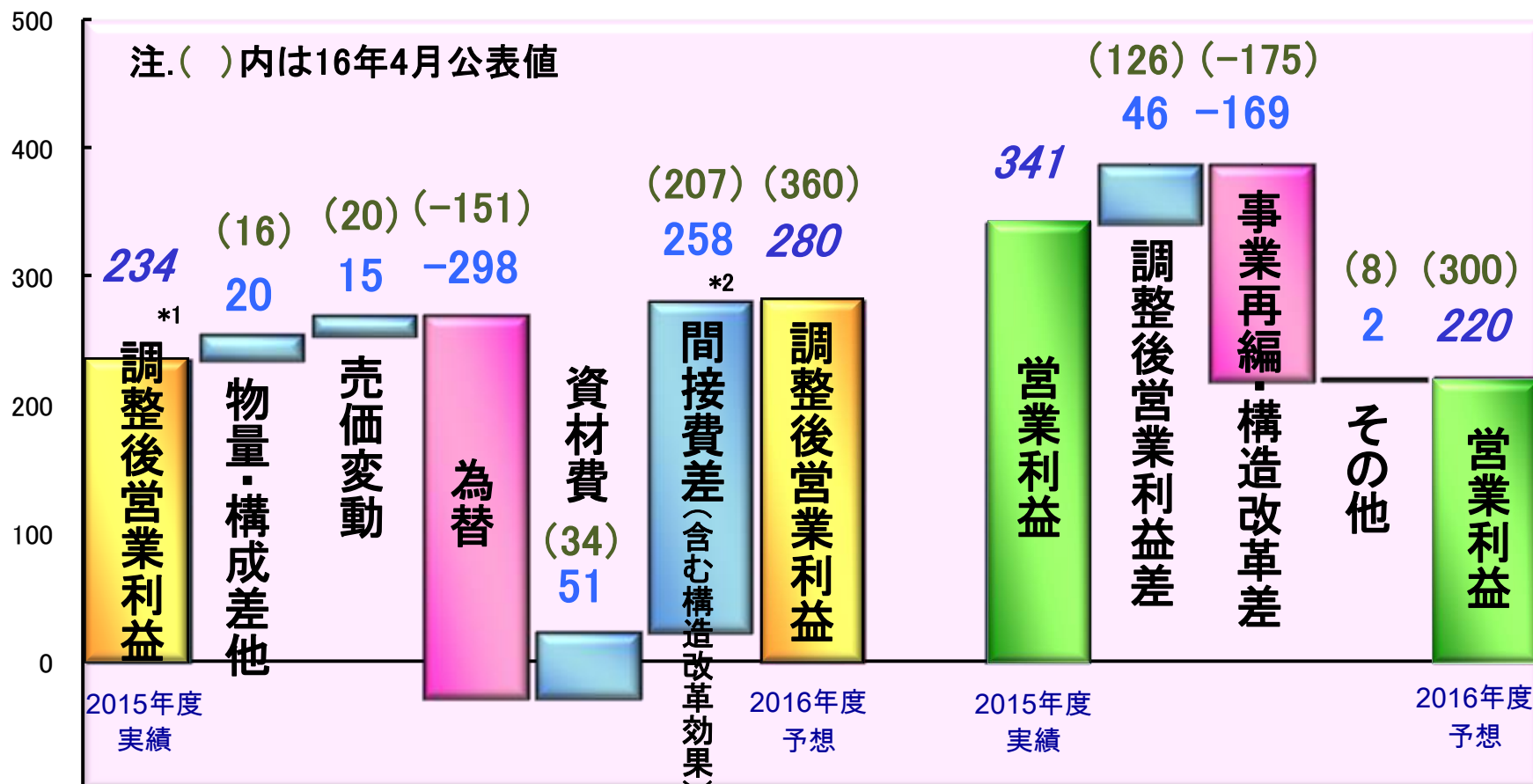
(単位:億円)

## 部品・サービス



・16年度調整後営業利益は、大幅な円高影響あるも、売価・資材費改善に加え構造改革を含む間接費低減を織込み、対前年46億円増加の見込み

(単位: 億円)



\*1 [調整後営業利益]は、連結損益計算書に表示している営業利益からその他の収益及びその他の費用を除いた日立グループ統一の利益指標です。

\*2 間接費: KCM子会社化による増 -55億

# END



---

お問い合わせ ; 日立建機株式会社  
ブランド・コミュニケーション本部 広報戦略室

TEL : 03-5826-8152  
FAX : 03-5826-8209

---

**【見直しに関する注記事項】**

本資料に記載されている、当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見直し等は、現在入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断したものです。実際の業績は、様々な要因の変化により、記載の予想、計画、見直しとは大きく異なることがあり得ます。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが含まれます。

# <参考資料>16年度 マイニング売上収益内訳

HITACHI

Reliable solutions

(金額:億円)

		15年度実績		16年度見通し		差額	
		Q1	年度	Q1(実)	年度		
		売上収益	売上収益	売上収益	売上収益	Q1	年度
米州	ショベル	13	60	31	101	18	41
	ダンプ	18	66	10	84	-8	17
	計	31	126	41	184	10	58
欧阿中東	ショベル	24	146	25	156	1	10
	ダンプ	43	146	44	130	0	-17
	計	67	292	69	285	2	-7
アジア・大洋州	ショベル	145	590	119	469	-26	-121
	ダンプ	19	139	24	202	5	63
	計	165	729	144	671	-21	-58
中国	ショベル	0	2	4	10	4	8
	ダンプ	0	0	1	3	1	2
	計	0	3	5	13	5	10
日本	ショベル	0	5	5	13	5	7
	ダンプ	0	0	0	0	0	0
	計	0	5	5	13	5	7
合計	ショベル	183	803	185	748	3	-55
	ダンプ	81	352	79	418	-2	66
	計	263	1,155	264	1,166	1	11